
通学電車

逢羽 和音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

通学電車

【Nコード】

N6052Z

【作者名】

逢羽 和音

【あらすじ】

高校二年生の御手洗 椿みたらい じばきにはひとつの日課がある。

それは七時十八分発の電車に乗ること。

小さな不安と小さな期待を胸に抱いて、椿は今日も電車に乗る。

そして物語は椿の知らないところで静かに動き出す。

女の子視点の物語です。

コンセプトは『等身大の恋物語』と『少しのダークさ』と『小さな伏線』です

11111111

あなたと同じ時間を過ごすだけで、私はシンデレラになれる……

あなたと同じ場所にいるだけで、ここは遊園地になっていく……

衝動買いしたチークはあなたのために息吹く……

いつも買つリップから一つ隣のリップを手取る……

段々と増えるミニボトルを見て迷う時間が増えていく……

少しでも女の子らしくなりたくて、あなたのために甘いリップを伸ばす……

少しでも長く髪を梳きたくて、閉じそうになる瞼を擦る……

少しでも可愛く見せたくて、スカートの折り込みを一つ増やす……

少しでも可愛く診られたくて、ブラウスのボタンを一つ緩める……

気付いてくれたら、と思うドキドキと

気付いてくれなかったら、と思う不安を

期待と不安を胸に抱きながら、私は駅に向かう

1111111111 (後書き)

この小説は本日より毎日零時更新となります。
本編七話 + あとがきの構成となっております。

わがままといき

七時一八分発。

三番乗り場。

の五番。

入り口から左奥の座席。

そこが私、御手洗みたらい 椿つばきの指定席。

世の中が五月病だと言いつけられど、私はこの電車に乗るから病気には罹らない。

ドアが閉まって電車が走り出す。

私は次の駅のためにカバーした文庫本を開いて、待つ。

扉から開かなくても、文庫本は自然に頁を開いてしまう。

もしも私がこの本の作者なら怒っていたに違いない。

栞は『目印』ではなく、『備品』に成り果ててしまった。

栞には申し訳ないけれど、もう少し『備品』のままでもらいたい。うだ。

もしそれがイヤなら電車の速度をほんの少し速めて、早く次の駅に着くようにしてほしい。

それが私のワガママだとは分かっているけれど、押し付けずにはいられない。

ごはんをお預けにされたルナの気持ちが分かったような気がした。

今日は家に帰ったらルナにジャーキーをあげようかな……

そんなことを考えていると電車は段々と徐行していき、私の胸は高鳴り出す。

顔は本に向けながら、心の中は駅について欲しいと叫んでいる。

次第に電車の中から見えるホームはコマ送りのようになり、アナウンスと一緒にドアが開く。

風が前髪を揺らし、シトラスの香りがキャンディーみたいな幸せを教えてくれる。

紺色の学ランと金色の装飾釦。そのつじよくほたむ

学校に興味のない私でも知っているような進学校。

その制服が私とカレの距離を示しているような気がして切なくなる。

7

名前も知らないカレは音楽を聴きながら双眸つばめを伏せて、そのまま動かなくなってしまう。

その姿はさながらドラマの主人公のようでついつい見入ってしまう。

もしも私にカレに話しかける勇気があれば、とびつきり甘い話になっていたのかもしれない。

けれど私にはそんな勇気がなくてただ眺めているだけ。

ヒロインになるためには不安とか、周囲のプレッシャーを押しつけるエネルギーが必要なんだと、一週間ほど前から私は悟った。

でも悟ったからと言って行動に移せるのか、と言えばそうでもなくて……。

悩んで、叱咤して、嘆いて、慰めて、小さな幸せを感じている間に無情にも、降車する駅に着いてしまった。

私は今日も気を揉んで、気を揉んで、電車から吐き出されてホームに投げ出される。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6052z/>

通学電車

2011年12月22日00時46分発行